

## 瀬戸内から始まる未来！ ～杜仲茶プロジェクト～

NPO おのみち寺子屋

佐藤 秀征, 石松 真

現代社会における、利己主義や自国ファースト主義といった考え方には、私たちに自身に「生かされている意識」「感謝の念」「敬天愛人の心」が欠乏しているのではないかと考えます。私たちの目の前では地域の分断、地域コミュニティの崩壊・消滅などといった問題が既に発生しています。地球温暖化や先般の西日本豪雨災害における表層流れといった環境問題にも、自分さえ良ければという心が関わっているのではないのでしょうか。また、これからの日本社会は少子高齢化社会ですが、そのこと自体は本当に悪いことであるかどうかは再考の余地があります。これからの日本社会を生きる当事者である私たちには、少子高齢化という環境を“活かして”明るい社会を創っていくことが求められるのではないのでしょうか。

まずは私たちの目前にある地域課題の現場に入って解決に取り組むことが、様々な問題に対する第一歩です。社会問題や地域課題を自分事として捉え、積極的に謙虚に使命感を持って精一杯考働出来る人材を育成していくことが必要かつ急務であると考えます。

私たちは杜仲茶プロジェクトを通して、個と公のバランス感覚のある社会起業家を育成してまいります。プログラムを用意し、参加者の社会起業家精神を醸成し、ひとりひとりが自分以外のモノの幸せのために考え行動して仕合わせを実感することが出来る機会を提供すること、相互扶助のソーシャルビジネスを実体験する機会を創造してまいります。

### 杜仲茶プロジェクトが目指すもの（SDGs 達成に向けた実践）

#### 1. 青少年の社会起業家精神の醸成

- 社会起業家とは、その時・その場所・その相手の課題を解決することをビジネスとしていく人物
- 社会起業家精神とは、自分以外のモノの幸せを自分の仕合わせ・やりがいと感じ、考え行動しようとする心

#### 2. 社会・地域の課題解決への実践

- 相互扶助の新農業、明るい少子高齢化社会の実現
- 地域資源(想い)を伝承すること。なぜ、いかにして因島杜仲茶が生まれ、受け継がれてきたか。そこには不変の“人と地域を愛する想い”がある。それは先人の想いであるが現代を生きる私たちの中にもあるべき心である。
- 地域のアイデンティティを次世代へ
- 今ある環境問題を改善すること、世界に誇れる瀬戸内の多島美を守ること
- 防災(表層流れの防止)、地球温暖化対策(有機農業)
- 事業自体が循環型で持続可能であること